

技術条件書

公募する新技術

「東京都渋谷合同庁舎(仮称)改築工事における外気の影響を受ける鉄部に用いる耐候性塗料に関する技術」

改築予定の都有建築物の鉄部の塗料として、これまで都有施設に一般的に採用されてきた仕様と比較してより優れた耐久性能を有する外気の影響を受ける鉄部に用いる耐候性塗料に関する技術を公募する。

なお、対象範囲は、外部鋼製建具（JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板）約10ヶ所とするが、対象施設は設計中であることから、数量等は想定である。

公募で求める技術条件を以下に示す。

A 性能基準

- ア 耐候性に優れたものであること（JIS K 5659の促進耐候性試験及び屋外暴露耐候性試験の結果を提出する。）。
- イ 付着強さに優れたものであること（JIS K 5659の層間付着性試験の結果及びJIS K 5600-5-6付着性（クロスカット法）の結果を提出する。）。
- ウ 耐温度変化に優れたものであること（JIS K 5659の耐湿潤冷熱繰返し性試験の結果を提出する。）。
- エ 防錆性に優れたものであること（JASS 18 M-109またはJPMS28等の試験結果を提出する。）。
- オ その他、性能を高める技術や提案がある場合は記載する。根拠資料があり、優れたものであれば、加点する。

B 機能性

- カ 耐汚染性に優れたものであること（具体的に記載する。また、自社試験または第三者評価等があれば提出する。）。
- キ 低VOC性に優れたものであること（塗料ごと（下塗り、中塗り、上塗り）のVOC含有率が30%以下であることを条件とする。VOC含有量（重量比）を記載すること。）。
- ク その他、改修の容易性など機能性を高める工夫や特筆事項（第三者評価等）がある場合は、記載する。根拠資料があり、優れたものであれば、加点する。

C 先進性

- ケ 特許等の取得あるいは申請の状況、技術論文の公表、受賞履歴、業界紙や新聞など紙面上の技術紹介により先進性が確認できること。ただし、耐候性塗料の耐候性に資する特許等の技術に限定する。

D 経済性

- コ イニシャルコストに優れたものであること。
- サ 65年のライフサイクルコスト（イニシャルコスト+ランニングコスト）に優れたものであること。
また、更新年数の根拠資料として、各種試験等の結果を提出する。

※ コストの算出にあたっては塗装に関するもののみ算出する（足場等の仮設は含まない。）。

- ※ 税別で材工共の平米単価（円／㎡）とする。
- ※ コストの算定は市場における取引による正確な価格とする。
- ※ 物価や為替レートの変動は考慮しなくてよい。
- ※ ランニングコストには、修繕費・改修費を含める（修繕・改修時の下地処理内容については提案に含める、内訳は一式計上とせず内容が分かるように明示する。）。

E 施工性

シ 施工実績があることを条件とする（提案する塗料（下塗り、中塗り、上塗り）と同一仕様のもの施工実績について記載する。）。

ス その他、施工品質の均一化や工程の短縮等、施工性を高める工夫や特筆事項がある場合は記載する。根拠資料があり、優れたものであれば、加点する。

なお、Bのキ及びEのシについては、条件を満たさない場合は他の審査を行わない。

以上